

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (東海)		一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・全国菓子大博覧会が開催中で波及効果が大きい。大候にも恵まれ、会場も周辺の店も好調でにぎわっている。
		商店街（代表者）	お客様の様子	・生き生きとした様子の客が増えている。
		商店街（代表者）	来客数の動き	・陽気とともに来客数が増加し、店によっては販売量等も増加している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・4月に入ってから、若干ではあるが販売量が増加している。ただし、中旬を過ぎてから落ち始めているので、一時的な動きかもしれない。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	販売量の動き	・全国菓子大博覧会が開催され、多くの客でにぎわっている。相乗効果が各地で現れている。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	販売量の動き	・年度末から今月にかけては需要が伸び、売上も増加しており順調である。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・駅前に新ビルがオープンし、今までなかった客層の来店がある。気候が良いため高齢者の来店も多く、平日の来客数、売上共に増加している。
		百貨店（経営企画担当）	お客様の様子	・株高等で富裕層を中心に宝飾品や海外特選ブランドの売上が伸びている。インバウンドによる訪日観光客が化粧品を中心に大量の消費財を購入し、売上を支えている。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・売上高、購入客数共に前年同月を上回っている。高級ブランド品の売行きが好調で、不振な商品の分もカバーしている。
		百貨店（計画担当）	来客数の動き	・ターミナル駅に新しい商業施設がオープンして周辺の集客が増えており、来客数の増加につながっている。
		スーパー（店長）	販売量の動き	・野菜、食肉、総菜や一般食品を中心に販売数が伸びており、1客当たりの購入点数も増加している。
		スーパー（販売担当）	競争相手の様子	・競合店が閉店し、閉店セール中の売上はやや減少したが、閉店後の売上はやや増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・キャンペーンの効果で対象商品のデザートや調理パンが好調である。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・売上は各店舗で前年同期を上回るようになっている。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・わずかではあるが、久しぶりに売上高が2か月連続で前年同期を上回っている。
		その他専門店〔雑貨〕（店員）	お客様の様子	・客の様子では、価格だけでなく機能も重視する商品選びが目立ってきている。
		その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	お客様の様子	・3か月前に比べると景気のいい話を聞くようになってきている。春になって旅行に行く人も増えている。宝石の販売単価も少しずつ上昇している。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・年齢層としては、30～40代の客で消費が増えている。
		都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・予約時のリードタイムが非常に短くなり、販売量の予測が難しくなっている。
		都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊客の売上は、前月比では伸びている。ただし、前年同月比としては大幅な減少となっている。
	旅行代理店（経営者）	それ以外	・交通至便なターミナル駅前に大型店舗、ホテルやオフィスが立地し、大きな集客効果がある。ただし、乱立する飲食店では、集客力の有無で業況にも差が出始めており、本当に集客力が高まっているのか一時的なものかは、少し時間がたたないと見極めがつかない。	
	通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・光回線の契約や光回線を利用した映像系サービスの注文が増加している。	
	テーマパーク職員（総務担当）	来客数の動き	・来客数が伸びている。	
	美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・前月からホワイトニングやUV関係の商品が多く売れている。	
	美容室（経営者）	来客数の動き	・4月前半は、新学期や入学式等、新生活の準備をする人が多く、来客数、売上共に増加している。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	それ以外	・福祉施設の収入が例年よりも多く、施設の増改築を行っている。	
	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	販売量の動き	・春になって気候が良いため、福祉用具レンタルの受注量が順調に伸びている。	

商店街（代表者）	販売量の動き	・必要な物以外は買わない状況がずっと続いており、販売量の改善につながらない。
商店街（代表者）	それ以外	・取引先のホテルの稼働率は良好に推移しているが、メーカーの業況は良くない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・客単価は依然下落しているが、来客数が増加しており、売上としては横ばいである。
一般小売店〔高級精肉〕（企画担当）	販売量の動き	・景気はムードが重要であり、北朝鮮問題が収束するまで景況感は今よりはならない。
一般小売店〔結納品〕（経営者）	単価の動き	・個人消費の非常に落ち込んだ状態が続いている。
一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数は3か月前からずっと変わっていない。
一般小売店〔薬局〕（経営者）	来客数の動き	・地方経済は一部を除き底ばいである。年金の出た後やセールでは少し客の動きがみられるが、3か月前と比べても景気が上向いたとは感じない。
一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・4月になり新しい動きが出るが、客層は二極化している。法人客でも景気の良いところは贈答が多いが、個人商店等は、交際費や贈答品には金を使わない。一部の大口客の売上が伸び、多数を占める小口客の売上は伸び悩み、全体を合計するとほぼ変わらない。
一般小売店〔書店〕（営業担当）	販売量の動き	・例年どおり、年度初めの受注量の増加がみられる。
百貨店（経理担当）	お客様の様子	・輸出や設備投資は改善傾向にあるものの、消費に関しては依然として慎重な姿勢が見受けられる。
百貨店（経理担当）	販売量の動き	・主力の衣料品の動きは、3月までと比較すると若干上向いているが、前年実績は上回っていない。
百貨店（販売担当）	お客様の様子	・来客数には伸びがみられるものの、購入意欲は微減である。近隣の商業施設の開業で、客の関心は新しい施設に移行している。
スーパー（経営者）	お客様の様子	・世間では景気は良い方向にあるといわれているが、月末の日曜日でも百貨店は来客数が少ない。レストランや喫茶店でも、お買得なメニューの注文が多いが、高い商品の注文は少ない。この地域では中小企業に勤める人が多く、手取りの給与は上がり節約志向が続いているため、飲食店は減っている。
スーパー（経営者）	来客数の動き	・来客数、販売量共に横ばいではあるが、全国菓子大博覧会が開幕して観光客等の客足が流れている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・花見や春の旅行シーズン等で菓子やジュース類は堅調に伸びているが、全体的には変わらない売上である。
スーパー（店員）	来客数の動き	・購入点数は少し増加しているが、来客数が減少しており不安である。
スーパー（販売促進担当）	販売量の動き	・消費者は引き続き低価格志向である。販売単価は回復せず販売量も伸び悩んでいる。
スーパー（商品開発担当）	来客数の動き	・来客数は前年同月の98.5%と、3か月前と比べて状況はほぼ変わらない。
スーパー（ブロック長）	競争相手の様子	・競合他社が販促チラシを出す回数は明らかに増えている。週末の天候不順や桜の開花の遅れ等で、売上の的には各社で苦戦が続いている。
コンビニ（企画担当）	販売量の動き	・3月は増収となったが、4月に入って再び前年実績を下回る店舗が増加している。
衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・例年であれば、4月は春物から初夏物に移行する時期で、新しい商品を見定める客が見受けられる時期だが、相変わらず来客数が少ない。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕（売場担当）	お客様の様子	・この数か月状況は変わらないが、消費者は衣料品には金を使わない。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・必要最小限の買換え需要ばかりで、売上は例年と変わらない。
乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・決算セール後のため、4月の販売台数は確実に落ち込んでいるが、例年の4月と比べて変わらない水準である。
乗用車販売店（経営者）	来客数の動き	・年度末から年度初めにかけては車検の件数も多く、来客数も安定している。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・購買意欲は低いままで、節約傾向が強い。

乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・全般的に問い合わせはあるが、なかなか実績につながらない。動きとしては悪くはないが、良いというには微妙なところである。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・相変わらず販売台数は目標の80%台で推移している。年度末の増販期も過ぎ、例年同様に新車の販売台数は大幅に落ち込んでいる。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・4月の販売実績はほぼ前年並みの数字を残しているが、地域間で差が大きく、市況はまだまだ厳しい。新入社員や転居等による新しい商談がもう少しあってもいい時期だが、相変わらず若者の車への関心は乏しい。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・販売量の動きは変わらず、良くも悪くもない。特に目立った動きもなく、ほぼ想定範囲内である。
乗用車販売店 (従業員)	販売量の動き	・新車販売台数は前年並みであるが、工場への入庫が目標を下回っており、良くも悪くもない状況である。ゴールデンウィーク前は車の点検が多くなる時期だが、今年は例年よりも少なく、車では遠出をしないという声も多い。
乗用車販売店 (従業員)	お客様の様子	・客の様子を見ていても、景気が良いのか悪いのか全くわからない状況である。
住関連専門店 (営業担当)	お客様の様子	・新築住宅、分譲マンション共に高止まりで、伸びはない。公共工事、ビル関係のリフォーム工事は旺盛である。
その他専門店 [雑貨](店員)	単価の動き	・客はスマートフォン等で様々な情報を集めて、安い物を見極めて購入する。
その他小売 [ショッピングセンター](経 理担当)	販売量の動き	・売上高は、前年同月比で1.6%の増加、来客数は同じく0.8%の増加で推移している。
高級レストラン (役員)	来客数の動き	・春の歓送迎会は、前年同月比でほぼ横ばいである。予約状況、フリー客共に勢いが無い。
一般レストラン [パン・カフェ](経 営者)	お客様の様子	・2～3月は商品の動きが良かったが、4月中旬からは少し鈍くなり、前年並みの動きとなっている。
一般レストラン (経営者)	販売量の動き	・販売量、来客数共に、大きく増加することはない。
その他飲食[仕 出し](経 営者)	販売量の動き	・販売状況は、良くなっている流れとは感じられない。
その他飲食[ワ イン輸入](経 営企画担当)	お客様の様子	・労働環境の改善に関する報道が増え、消費者には心理的なゆとりを与えている。
旅行代理店(経 営者)	販売量の動き	・前年同月比では良くも悪くもなく、景気は変わらない。
旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・ゴールデンウィーク前の駆け込み受注はまばらである。夏休みや9月の大型連休の問い合わせが増えてきているが、まだ検討段階の様子である。プレミアムフライデーに有給休暇を加えて旅行をしたいという問い合わせも出てきているので、定着に期待する。
旅行代理店(経 営者)	お客様の様子	・桜の季節が終わり気候もよく、販売が上向きになる時期だが例年どおりの動きではなく、客の動きが読みづらい。
タクシー運転手	お客様の様子	・桜の時期には天候が悪く、花見客は例年より少なかった。大型連休を控え、4月後半には節約傾向がみられ、タクシー利用は少ない。
タクシー運転手	来客数の動き	・4月になっても、客足は期待したほどは良くなっていない。
タクシー運転手	来客数の動き	・長い間繁華街では人出が少ない状態が続いている。以前なら大型連休前は人出が増えたが、最近では少ないままである。
タクシー運転手	来客数の動き	・タクシー利用者の動きは変わらない。
通信会社(企画 担当)	販売量の動き	・新規契約数は順調に推移しており、解約数も少なくなっている。
通信会社(営業 担当)	販売量の動き	・全体的に、良い状態が続いている。
通信会社(営業 担当)	お客様の様子	・4月としては客の動きが鈍く、安価な商材の動きが中心である。
テーマパーク (職員)	来客数の動き	・来客数が前年並みで推移している。

観光名所（案内係）	お客様の様子	・街中を歩く若者は増加しているが、高齢者は、出歩くのは昼間だけであまり金を使わない。この状況がしばらく続いている。
ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・4月は来客数、売上共に計画値は下回っているが、前年同月比では少し良くなっている。2～3月は来客数が前年同期を下回っていたが、3か月前と同程度の状況に戻っている。
その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	来客数の動き	・新学期を迎え、お試し切符で通学を検討する1年生がしばらくみられたが、今は落ち着いて平常どおりの状況となっている。
美容室（経営者）	お客様の様子	・この3か月は寒い日が多かったので、客足は相変わらず良くない。
住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・来場者数は例年並みのため、ゴールデンウィークからの盛り上がり期待できる。まだ年度の初めで、社内のムードも来客数の動きも少し落ち着いている。
住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・受注は横ばい状態である。
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・年度末に駆け込み受注があったためか、近隣では新築住宅の着工が増えている。取引先の声では、ゴールデンウィークでも長期間は休めないと聞いている。
その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	販売量の動き	・前年同月比の売上や販売件数は横ばいで、景気が上向きとは感じない。
商店街（代表者）	お客様の様子	・年金生活に入った客層は、家電製品の購入には消極的である。
一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・例年4月は歓迎会等で飲食の機会が増え、飲食店のアルコール消費が伸びる時期であるが、今年では来客数に比べてアルコールの消費が少ないという飲食店が多い。飲食店では若い人のアルコール離れが年々進んでいる。
百貨店（販売促進担当）	来客数の動き	・ボリュームゾーンの売上減少や、ターミナル駅地区の大型商業施設の開業が影響している。インバウンドも低調に推移している。
スーパー（総務担当）	来客数の動き	・天候不順もあるが、来客数が前年同期より2%ほど減少しているのが心配である。
スーパー（販売担当）	販売量の動き	・来客数が著しく減少している。
コンビニ（店長）	来客数の動き	・4月の売上は前年同月比で14%のマイナスとなっている。ここ3か月は9～10%のマイナスで推移していたが、今月は特にマイナス幅が大きい。競合先の出店や繁華街への人出の減少が要因として考えられる。
衣料品専門店（販売企画担当）	競争相手の様子	・同業者の会合では、ほぼ全員が売上は減少していると言っている。売れる商品は一部だけで、ほとんどの商品が動いていないとのことである。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・4月は、前年と比べても来客数が若干減少している。以前から減少は続いているが、徐々に悪くなっている。
その他専門店〔書籍〕（店員）	販売量の動き	・例年、4月は新入学等の教材や旅行用の雑誌等の動きが良くなる時期だが、来客数、客単価共に例年を下回っている。ゴールデンウィークを前に買い控えが目立っている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・4月に入り、3か月前に比べると宿泊者数、昼食・夕食共に来客数が減少しており、やや悪くなっている。
観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・3か月前と比べて、食堂利用等の個人客数は伸びてはいるが、グループ・団体客の一般宴会が20%ほど大きく落ち込んでおり、やや悪くなっている。
テーマパーク（職員）	お客様の様子	・インバウンドは増えているが、国内客が減っている。
パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数や単価の動きがやや悪くなっている。
理美容室（経営者）	来客数の動き	・例年ならば、段々暖かくなって忙しくなる時期であるが、あまり客が来ない。
設計事務所（職員）	お客様の様子	・客の話を聞いても、景気の良くなる話は聞かない。
住宅販売会社（経営者）	来客数の動き	・広告を出しても反応がなく、集客が今一つである。
その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	単価の動き	・リフォーム物件は、発注額は低い案件は増えている。公共工事は発注数、発注額共に減少し厳しくなっている。

	x	乗用車販売店 (経営者)	販売量の動き	・3月の決算月が終了し、4月に入ってからは一気に販売量が少なくなっている。
	x	理容室(経営者)	お客様の様子	・相変わらず客足は安い店に流れる。客の来店サイクルも長くなっている。
企業 動向 関連		*	*	*
(東海)		食品品製造業 (経営企画担当)	受注量や販売量の動き	・今年に入ってから受注状況は順調に推移している。
		一般機械器具製造業(営業担当)	受注量や販売量の動き	・休止していたメキシコ向け自動車設備案件が動き出し、引き合いが増えている。
		電気機械器具製造業(総務担当)	取引先の様子	・当圏域のケーブルテレビ事業者は、競合する通信事業者や電力系事業者への対抗と4K・8K放送の本格化に向けて、ネットワークの光回線化が急務で、設備投資が盛んになりつつある。
		輸送用機械器具製造業(品質管理担当)	取引先の様子	・ゴールデンウィークに遠出をする予定の人がたくさんいる。
		輸送業(経営者)	受注量や販売量の動き	・国内消費財、建築関連の生産財共に、前年同期を若干上回っている。運転手不足や軽油価格の上昇で利幅は縮小しているが、利益は増えている。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・4月に入ってから1日当たりの荷物量が前年同期を上回るようになっており、3か月前と比べるとやや上向きである。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが前年同期と比べて6.3%増えている。
		通信会社(法人営業担当)	それ以外	・今年の春闘では、中小企業を中心にベースアップが顕著となっている。
		行政書士	受注量や販売量の動き	・貨物の荷動きが良い。
		会計事務所(職員)	取引先の様子	・今まで少数精鋭で我慢してきた中小企業で、中途採用による人員確保が増えている。特に技術職は顕著で、大工、左官や電気工事等、専門職種では人員不足のようである。ただし、人材育成の点で問題が多い。
		会計事務所(社会保険労務士)	取引先の様子	・決算を迎える法人の多くが黒字であり、役員報酬を増額することができている。ボーナスを支給するところも多い。
		食品品製造業(営業担当)	取引先の様子	・相変わらず取引先からは大きな受注もなく、販売は厳しい状況が続いている。
		パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	受注量や販売量の動き	・4月の受注量・販売量は、3か月前と比較してもあまり変わりはなく、景気は横ばいである。
		化学工業(人事担当)	受注価格や販売価格の動き	・スーパーの店頭価格は、食品品関係を始め全般的にやや上昇しているが、販売量はあまり増えていないのか、どこの店でもセールを頻繁に実施している。新聞の折込広告も増えている。
		化学工業(総務秘書)	それ以外	・やや円高基調で経営側には警戒感があるが、ベースアップが実施され、景気は引き続きやや良いまま変わらない。ターミナル駅周辺では、高層ビルの建設ラッシュは一段落したが、人通りは多く飲食店にも行列ができ、街はにぎわっている。
		鉄鋼業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・鉄鋼メーカーの一方的な値上げで、仕入れ値は前年比で30%以上上昇しているが、販売単価には一向に転嫁できない。
		電気機械器具製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・輸出が好調のところもあるが、伸び悩んでいるところもあり、一長一短である。
		電気機械器具製造業(経営者)	受注価格や販売価格の動き	・この2~3か月、鉄鋼や材料は値上がりしているが、販売単価に反映できない状況が続いている。
		建設業(経営者)	受注量や販売量の動き	・マンション、戸建住宅共にほぼ順調な推移であるが、年度末を過ぎてから、モデルルームへの来場者数がやや減少している。
		輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き	・ガソリンや軽油が徐々に値上げされて、物流業界ではコストの増加要因となっている。旅行、レジャーや行楽等への影響も懸念される。
		輸送業(エリア担当)	受注量や販売量の動き	・輸出量は微増である。
		通信会社(法人営業担当)	それ以外	・北朝鮮のミサイル実験や国会議員の失言等で、消費を楽しむ気持ちになれない。家庭の安定の上に質の良い仕事が成り立つように、国の安定や政治の充実の上に、消費や経済は成り立つ。

	金融業（従業員）	受注量や販売量の動き	・生命保険や年金保険の保険料を見直したいという客が多い。	
	金融業（企画担当）	取引先の様子	・個人投資家は、株価や為替の方向性が定まらないことから、運用については現状維持である。資産効果が現れないと消費も活発にはならない。	
	不動産業（用地仕入）	取引先の様子	・土地の仕入れ状況にもマンションの売行きにも変動はない。競合他社をみても、年明け以降は目立った動きはない。	
	広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・最近の受注状況は、量、金額、内容等が不安定になってきている。	
	公認会計士	それ以外	・客先の中小企業の業績は厳しい状況が続いている。中小企業に勤務する労働者の給与は上がっていない。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	競争相手の様子	・競合先は、ゴールデンウィークを前に仕事量も多くて大変忙しく、好況のようである。当社も展示会を行う等まずまずの忙しさである。為替の動きが不透明で気になる。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・大手企業からの年度末の予算消化による駆け込み注文が例年以上に多く、3月末までは忙しかったが、その反動で4月の受注額は例年の3分の2以下になっている。	
	金属製品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・案件が多くない状況で原材料が値上がりしており、利益確保が厳しい。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・3月の売上が好調だったので、その反動が出ている。	
	×	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が減少している。販売価格も横ばいから低下傾向である。
	×	電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・合併に伴い賃金が引き下げられている。
雇用 関連 (東海)	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は前年比、3か月前比共に30%の伸びを示している。年間ベースでも2けたの伸びを示しており、各企業における採用ニーズは高まっている。	
	人材派遣会社（営業担当）	それ以外	・株価の動きが安定している。	
	職業安定所（所長）	求人数の動き	・管内の主要産業を始め、物流や飲食サービス等、多くの業界で求人が増える一方、求職者は減少している。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、前月比、前年同月比共に増加している。	
	民間職業紹介機関（支社長）	求人数の動き	・求人数は前年同期比で増加してきている。	
	人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・3か月前に比べればやや落ち着き、例年並みとなっている。	
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・例年4月は受注が若干落ち込む傾向にあるが、今年はほとんど落ち込むこともなく、エンジニアの稼働率も高い状態となっている。前年から続く自動車関連企業の活況さが回復感を維持している。ただし、3か月前と比べると、景気が一層良くなっているというよりは、やや良い状態が続いている状況である。	
	人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・期末から期初にかけての企業の採用活動が一段落し、人材の動きも一旦落ち着いている。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	周辺企業の様子	・景気の先行きが不透明で、企業は非正規での採用を望む。採用意欲はあるが、求人広告に対して財布のひもは固くなっている。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・新聞広告の求人件数は減少が続いている。正社員の確保にはあきらめムードもあり、人材紹介にシフトしている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・有効求人数、新規求人数共に微増である。景気に関しては、それほどの変化はない。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・求職者は、事業主都合、自己都合共に、前年同期比で減少しているが、在職者や無業者の求職は増加している。有効求人倍率が5か月連続で2倍を超えており、人手不足感が強まっている。	
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は前年同月を上回っており、引き続き人手不足感がある。	
	民間職業紹介機関（窓口担当）	求職者数の動き	・例年と同様、新年度になって求職活動が一旦落ち着き、求職者数は前月より少なくなっている。	
		-	-	-
		×	-	-